

おいでよ 放課後子ども教室

スポーツや文化活動を通して、子どもたちのすこやかな成長を見守る「放課後子ども教室」。地域の区民団体が区の委託を受けて運営しています。

今号ではその一つ、「とちまるランド」で活動する方に話を聞きました。

放課後子ども教室について詳しくは、
育成活動支援係 ☎(3228)5648・FAX(3228)5659へ



とちまるランドの
内田光子さん

子どもたちに地域の居場所を

東中野小学校の統合をきっかけに、子どもたちの地域の居場所を作りたいと、保護者が中心になって「とちまるランド」を立ち上げました。

立ち上げから約10年間、活動に関わっています。世代を超えて、地域の住民同士が知り合いになることで、子どもの安心・安全につながる。10年前と比べて地域の関係は薄れていると感じるけれど、子どもたちが居場所を必要としていることは変わりません。子どもたちからいつも元気をもらって、活動を続けています。

誰にでも開かれた場所にしたい

毎回同じメンバーが参加するのではなく、新しい人が参加できるように、チラシ作りや配布には力を入れています。講師やボランティアとして地域の人も巻き込んで、誰にでも開かれた場所にしたいと思っています。初めての人も、みんなが楽しめる場なので、気軽に参加してほしいです。

とちまるランド

東中野区民活動センターや隣接のおかのうえ公園を拠点に活動。ここで紹介した活動以外にも、さまざまなプログラムを行っています

活動 2

お花とあそぼ!!

仙石さんと季節の花を生けたりブーケを作ったりします。



▲どの子の表情も真剣そのもの



▲素敵なブーケが完成しました



◀取材時には約30人が参加。テーマは「ハーブたっぷりサマーリース」で、良い香りが広がります

一人暮らしで 地域とは無縁だった日々が一転

東中野で一人暮らしを始めて約7年、個人でフラワーアレンジメントなどの仕事をしています。

地域の活動とは無縁でしたが、2年前に都主催のイベントでたまたま東中野の町会長の話を聞いて興味を持ち、町会のイベントに参加したり、手伝ったりするようになりました。今は仕事を生かして、とちまるランドの活動の手伝いや講師のボランティアをしています。友達に話すと驚かれますが、活動は楽しくて仕方ないです。

子どもたちにとって 「ちゃんと見ていてくれる人」に

以前は、子どもや地域の方との接点がほとんどありませんでした。でも活動に参加し始めてから少しずつ顔見知りが増えて、地元愛が湧いてきました。

今は子どもたちとずっと深く関わりたいと思っています。先生でも親でもない、対等に話せるいろいろな大人が地域で見守っていることは大切なこと。子どもたちにとって、「ちゃんと見ていてくれる人」でありたいですね。

ボランティアの
仙石達也さん



活動 1

とちまるジム

東中野区民活動センターの多目的室で、自由に遊びます。地域の方との交流も。



▲輪投げの名人、田中さん。子どもたちにコツを伝授



▲地域のプロの格闘家がゲストで参加



▲スポーツ担当のボランティアとバレーボールの対戦

遊ぼう 放課後子ども教室 学ぼう

(事業名・主な活動場所)

- ぴよこたんClub (武蔵台小学校、北中野中学校など)
- にしなかの全力サポーター放課後学習室 (西中野小学校)
- みんなのこども空間 (北原児童館、北原小学校など)
- ふれあいスペース四中 (第四中学校)
- 放課後子ども食育・クッキング (野方区民活動センター)
- ヌマスタ (沼袋区民活動センター)
- FBA (第七中学校、江原小学校など)
- スポーツ教室 (新井小学校)

- パワーズオンサンデー (上高田児童館など)
- 夢発見!草っパラダイス (上高田公園奥の草っぱら)
- とちまるランド (東中野区民活動センターなど)
- やよいYYネット (朝日が丘児童館、弥生児童館など)
- 南中野子ども花だんクラブ (南中野児童館)
- 夢かけ:弥生あそび場教室 (弥生児童館など)
- わくわくいきもの教室 (野方児童館、宮の台児童館)



▲ぴよこたんClub



▲放課後子ども食育・クッキング



▲ヌマスタ

☆各教室の内容などについて詳しくは、区HPをご覧ください。育成活動支援係へ問い合わせを

右記二次元コードからアクセスできます▶

